

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4階  
団 体 名 特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング  
代表者職・氏名 理事長 光原 ゆき  
電話番号 03-6822-5371

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和4年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 NPO 法人キープ・ママ・スマイリング

1 事業実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

私たちは、昨年度から引き続き、佐賀大学医学部附属病院へ、地元の農家から無償で提供された生産物を使って市内の結婚式場のシェフが調製したお弁当を30名に提供し、大学生と当団体のスタッフが病院までお弁当を届けるといふ地域を巻き込んだ活動となりました。高度医療を提供する同センターは、佐賀県における小児中核施設として県内全域から重症の病児を受け入れています。家族の中には、病院まで遠くて通うことができず小児病棟に泊まり込んで長期に看病している人も少なくありません。新型コロナウイルス感染症が収束した状況でもなお、小児病棟では外出、面会をはじめ、さまざまな行動を制限される生活が続いており、病児と家族は心身ともに疲弊しています。このような状況に置かれた家族に定期的にお弁当を差し入れることは単に空腹だけでなく、心を支える大きな効果も現れています（下記「受益者の声」参照）。

また、2022年6月19日に私たちの地域拠点である佐賀市にて病気の子どもと家族を応援する啓発イベント「SAGAの笑顔をつなげる日～地域のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に！」を開催しました。

この啓発イベントは、地域の人たちに病気の子どもとそのご家族への理解を深めていただくとともに、みんなで応援する気持ちを病気のお子さんとその家族に届け、本キャンペーンのテーマである「笑顔がつながる日。」にすることを目的とし、一人でも多くの地域の方にご参加いただけるようSNSで告知したほか、地元の新聞に折り込みチラシを入れるなどPRに努めました。

#### ■受益者の声

「スイーツBOXは親子で美味しくいただきました。思わぬ豪華なご褒美でとても嬉しかったです。ありがとうございました。」

「豪華！デザートまであって幸せな気持ちになりました。病院の食堂は閉まっていてコンビニや家族に持ってきてもらうしかなく、、、ありがたいです。」

「付き添って3週間がたち、身体も心も疲れていた時に、このようなお弁当とメッセージをいただき、すぐく元気をもらいました。」

「地元の人たちの優しさが詰まったお弁当、とってもおいしかったです。」

「入院中は子どものことでいっぱい、自分のことは後まわしの生活をしているので、お腹いっぱい気持ちも満たされました。明日からも頑張ります。」

### 3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

#### (1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCF を行った場合は GCF 名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 付き添い生活応援パック	病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援を目的に「付き添い生活応援パック」を無償で送付。	(A) 令和4年4月～令和5年3月 (B) 全国の病院 (C) 10名	(D) 全国の小児病棟に付き添い入院するご家族 (E) 2,500名	5,081
② お弁当 de スマイリング in 佐賀大学病院	株式会社ディアーズ・ブレインが運営する結婚式場・アクアデビュー佐賀スイートテラスに所属するシェフが地元の食材を使ったお弁当を調製し、それをキープ・ママ・スマイリングのスタッフと佐賀大学などの大学生が佐賀大学医学部附属病院こどもセンターまでお届けする。	(A) 令和4年6月、9月、12月、令和5年3月 (B) 佐賀大学医学部附属病院こどもセンター (C) 5名	(D) 佐賀大学医学部附属病院こどもセンターにて付き添う家族 (E) 毎回30名	0
③		(A) (B) (C)	(D) (E)	

#### (2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 付き添い生活応援パック	病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援を目的に「付き添い生活応援パック」を無償で送付。	(A) 令和5年4月～令和6年3月 (B) 全国の病院 (C) 10名	3,308

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	6,486,057	
	(うち本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分)	(6,309,437)	
	(うち前年度控除額(県事務経費)還付分)	(176,620)	
	前年度繰越金	6,217,747	
	収入計	12,703,804	
支 出	○付き添い生活応援パック	5,081,897	事業総費用10,633,897円に対し、日本財団助成金5,552,000円を除いた費用を、ふるさと納税で活用。
	返礼品等の調達に係る費用	310,210	
	返礼品等の送付に係る費用	48,554	
	ふるさと納税の広報に係る費用	2,230	
	ふるさと納税の事務に係る費用	45,500	
	次年度繰越金	7,215,413	次年度に、付き添い生活応援パック事業に充当予定
支出計	12,703,804		

○GCFを行った場合は、GCFの事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。